



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月2日

上場会社名 株式会社アルテ サロン ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2406 URL <http://www.arte-hd.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 目黒 泉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 坂口 満春 TEL 045-663-6123
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	3,635	2.4	170	43.7	157	10.5	48	57.9
28年12月期第2四半期	3,551	2.1	118	60.1	142	66.1	30	272.9

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 48百万円(59.0%) 28年12月期第2四半期 30百万円(256.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	9.72	—
28年12月期第2四半期	6.13	—

(注) 前連結会計年度において表示方法の変更を行い、28年12月期第2四半期についても、当該表示方法の変更を反映した組替後の数値及び対前年同四半期増減率を記載しております。この変更により28年12月期第2四半期の売上高及び営業利益が8,435千円増加しておりますが、経常利益及び当期純利益に変更はありません。詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	7,499	2,379	31.7
28年12月期	7,393	2,380	32.2

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 2,379百万円 28年12月期 2,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	—	10.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,550	3.1	480	29.9	480	12.3	220	3.8	43.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	5,330,000株	28年12月期	5,330,000株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	324,843株	28年12月期	324,843株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	5,005,157株	28年12月期2Q	5,025,157株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成29年8月3日(木)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(重要な後発事象)	10
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移しました。

一方で、世界経済は全体として緩やかに回復しているものの、中国を始めとするアジア新興国等の経済の先行きや欧米の今後の政策の動向及び影響などに留意が必要な状況にあります。

国内の美容業界におきましては、人口減少と少子高齢化の進展、新卒美容師の減少、選別消費の進展、小規模サロンの後継者不足など、厳しい状況にあります。一方で、男性の美容室利用率の増加や、低料金の専門サロンの定着、アンチエイジング・スカルプ市場の拡大、美容意識の向上に伴う専門ニーズの高まりなどの動きが見られます。マーケットニーズは多様化し、デザイン系サロンとメンテナンス系サロンの業態分化など、様々な動きが出てきており、サロンチェーン間の競争は特に激しさを増してきております。

このような状況のなか、当社グループは、高品質のブランドサロンを中核に、一方で定期的な身だしなみ(メンテナンス)を来店動機とする需要層を囲い込むためにエコノミーな料金で施術サービスを行うサロンを強化するなど、複数のブランド展開を図っております。高品質なサービスをリーズナブルな料金で提供するアッシュ、ニューヨーク・ニューヨークなどのデザイン系サロン、また、メンテナンスのニーズをエコノミー料金で提供するチョコペタブランドまで、グループの経営理念である「地域のお客様に美と健康と若々しさを提供し、当社グループに関わるすべての人と共に幸福社会を築いていける会社づくりを目指す」を旗印に、グループの結束力を強化し、経営の効率化や地域一番店を目指すための諸施策を実施しております。

来店施策として、24時間予約が可能なWeb予約システムの活用強化やメールマガジンを活用し、魅力ある情報発信を行い、新規顧客の獲得や再来店顧客の増加を図っております。

単価施策として、縮毛矯正やワンランクアップのつや感を演出するプレミアムカラーの強化、アンチエイジングを目的としたメニューや商品販売強化、美容室の雰囲気や対応力を重視する大人客を囲い込むための接客力強化を順次進めております。

また、スタイルデザイナーが直営で運営するチョコペタは、投資効率の高い出店を着実に増加させております。チョコペタは、カットとカラーのシンプルなサービスを基本に、サロン内の作業を自動受付やオートシャンプー等のロボット化により省力化し、パートタイマー美容師を積極的に活用しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社主要子会社の入客数は、株式会社アッシュが前年比103.7%、株式会社ニューヨーク・ニューヨークが同102.3%、株式会社スタイルデザイナーが同106.1%となっております。一方、当社主要子会社の客単価は前年比97.3%となりましたが、これは、平均客単価2,100円のチョコペタの売上高増加が主な要因となります。以上により、当社グループチェーンの全店売上高合計は、8,315百万円(前年比101.9%)となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結子会社店舗数は、278店舗(株式会社アッシュ「以下、Ash」117店舗、株式会社ニューヨーク・ニューヨーク「以下、NYNY」32店舗、株式会社スタイルデザイナー「以下、SD」119店舗、株式会社ダイヤモンドアイズ10店舗)となります。なお、SDのチョコペタ店舗数は、23店舗(前年同月比9店舗増)となっております。また、グループにおけるFC店舗数は、208店舗(Ash95店舗、NYNY17店舗、SD96店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,635百万円(前年同四半期比102.4%)、営業利益は170百万円(同143.7%)、経常利益は157百万円(同110.5%)となりました。

また、店舗閉鎖損失や減損損失等を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円(同157.9%)となりました。

なお、当社グループの連結子会社店舗数278店舗のほか、株式会社シーエフジェイの国内店舗数6店舗、海外店舗数2店舗(シンガポール共和国・中華人民共和国各1店舗)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、419百万円減少して2,675百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の減少263百万円、売掛金の減少36百万円、立替金(四半期連結貸借対照表上は、流動資産「その他」で表示)の減少115百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、525百万円増加して4,823百万円となりました。

これは主として、新規出店及び会計上の見積りの変更に伴う資産除去債務等による建物(純額)の増加624百万円、店舗移転等に伴う敷金及び保証金の減少74百万円によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、105百万円増加して7,499百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、529百万円減少して2,195百万円となりました。

これは主として、買掛金の減少31百万円、未払金の減少353百万円、未払法人税等の減少57百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、636百万円増加して2,924百万円となりました。

これは主として、長期借入金の増加172百万円、会計上の見積りの変更に伴う資産除去債務の増加454百万円によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて106百万円増加して5,120百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、1百万円減少して2,379百万円となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上48百万円はありましたが、配当金50百万円を実施したことにより、利益剰余金が1百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.2%から31.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比べ263百万円減少し、1,395百万円となりましたが、主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は50百万円(前年同四半期は300百万円の収入)となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益88百万円、減価償却費218百万円、立替金の減少額115百万円、未払金の減少額353百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は398百万円(前年同四半期は344百万円の支出)となりました。

これは主として、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出423百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は84百万円(前年同四半期は57百万円の収入)となりました。

これは主として、長期借入れによる収入500百万円、長期借入金の返済による支出362百万円、配当金の支払額49百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年2月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年6月30日)の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては平成29年8月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,658,748	1,395,399
売掛金	491,693	454,755
商品	71,871	69,905
貯蔵品	25,493	33,140
その他	849,776	723,847
貸倒引当金	△1,974	△1,201
流動資産合計	3,095,609	2,675,847
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,209,204	5,599,097
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,487,612	△3,252,622
建物(純額)	1,721,591	2,346,474
車両運搬具	12,989	15,062
減価償却累計額	△10,213	△8,107
車両運搬具(純額)	2,776	6,955
工具、器具及び備品	1,018,801	1,047,295
減価償却累計額及び減損損失累計額	△854,302	△846,124
工具、器具及び備品(純額)	164,499	201,170
土地	134,200	134,200
リース資産	22,059	22,059
減価償却累計額	△11,035	△13,205
リース資産(純額)	11,024	8,853
建設仮勘定	12,899	4,290
有形固定資産合計	2,046,991	2,701,945
無形固定資産		
のれん	274,422	225,053
その他	144,978	130,850
無形固定資産合計	419,401	355,903
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,411,337	1,336,492
その他	431,528	450,714
貸倒引当金	△10,890	△21,660
投資その他の資産合計	1,831,975	1,765,546
固定資産合計	4,298,367	4,823,395
資産合計	7,393,976	7,499,242

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,462	68,047
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	613,388	577,909
未払金	1,532,453	1,178,631
未払法人税等	80,998	23,574
賞与引当金	1,999	7,891
資産除去債務	3,101	23,283
その他	243,693	166,353
流動負債合計	2,725,097	2,195,690
固定負債		
長期借入金	1,921,461	2,094,313
退職給付に係る負債	89,695	90,353
資産除去債務	49,128	503,215
その他	227,991	236,443
固定負債合計	2,288,277	2,924,324
負債合計	5,013,374	5,120,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,360	324,360
資本剰余金	860,292	860,292
利益剰余金	1,335,446	1,334,031
自己株式	△139,825	△139,825
株主資本合計	2,380,272	2,378,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	329	369
その他の包括利益累計額合計	329	369
純資産合計	2,380,601	2,379,227
負債純資産合計	7,393,976	7,499,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,551,285	3,635,945
売上原価	2,531,076	2,595,902
売上総利益	1,020,208	1,040,042
販売費及び一般管理費	901,825	869,917
営業利益	118,383	170,125
営業外収益		
受取利息	2,724	1,449
受取手数料	4,621	4,765
受取補償金	20,850	—
その他	18,616	12,801
営業外収益合計	46,812	19,016
営業外費用		
支払利息	9,656	7,966
貸倒引当金繰入額	1,418	12,339
その他	11,365	11,115
営業外費用合計	22,439	31,421
経常利益	142,755	157,720
特別利益		
固定資産売却益	210	199
受取補償金	67,257	—
資産除去債務戻入益	1,734	—
特別利益合計	69,201	199
特別損失		
固定資産売却損	—	991
固定資産除却損	3,088	9,919
店舗閉鎖損失	72,308	10,621
減損損失	54,361	29,642
資産除去債務履行差額	—	18,245
その他	5,000	—
特別損失合計	134,758	69,420
税金等調整前四半期純利益	77,197	88,499
法人税、住民税及び事業税	82,439	24,839
法人税等調整額	△36,041	15,023
法人税等合計	46,398	39,862
四半期純利益	30,799	48,636
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,799	48,636

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	30,799	48,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△187	40
その他の包括利益合計	△187	40
四半期包括利益	30,611	48,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,611	48,677

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	77,197	88,499
減価償却費	244,204	218,365
減損損失	54,361	29,642
のれん償却額	62,657	32,136
その他の償却額	1,873	3,074
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,117	657
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,837	9,996
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	5,891
受取利息及び受取配当金	△2,741	△1,469
支払利息	9,656	7,966
為替差損益(△は益)	612	160
有形固定資産売却損益(△は益)	△210	791
受取補償金	△88,107	—
受取保険金	△663	△516
有形固定資産除却損	3,088	9,919
店舗閉鎖損失	72,308	10,021
資産除去債務戻入益	△1,734	—
F C契約解約損益(△は益)	5,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	134,418	36,937
たな卸資産の増減額(△は増加)	△327	△5,680
立替金の増減額(△は増加)	106,720	115,289
その他の資産の増減額(△は増加)	34,026	31,246
仕入債務の増減額(△は減少)	△43,828	△31,415
未払金の増減額(△は減少)	△289,304	△353,822
未払消費税等の増減額(△は減少)	19,756	△35,193
その他の負債の増減額(△は減少)	△15,191	△33,417
小計	398,729	139,083
利息及び配当金の受取額	3,648	1,771
利息の支払額	△9,096	△8,215
保険金の受取額	663	516
法人税等の支払額	△92,992	△82,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,951	50,891

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△149,503	△423,021
有形固定資産の売却による収入	598	1,969
無形固定資産の取得による支出	△44,407	△13,879
資産除去債務の履行による支出	—	△3,456
投資有価証券の取得による支出	△73	△75
非連結子会社株式の取得による支出	—	△10,000
のれんの取得による支出	△69,000	—
貸付けによる支出	△131,304	△10,053
貸付金の回収による収入	46,778	25,396
保険積立金の積立による支出	△3,474	△3,544
敷金及び保証金の差入による支出	△33,425	△40,439
敷金及び保証金の回収による収入	72,203	70,743
預り保証金の返還による支出	△17,780	△9,151
預り保証金の受入による収入	200	18,400
加盟金等の取得による支出	—	△1,200
会員権の取得による支出	△15,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△344,189	△398,312
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△388,687	△362,627
長期借入れによる収入	500,000	500,000
配当金の支払額	△50,348	△49,858
割賦債務の返済による支出	△1,079	△1,079
リース債務の返済による支出	△2,378	△2,404
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,506	84,030
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,242	△263,349
現金及び現金同等物の期首残高	1,439,594	1,658,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,453,837	1,395,399

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、従来、有形固定資産(リース資産を除く)のうち、平成28年3月31日以前に取得した建物附属設備、車両運搬具、工具、器具及び備品について、減価償却の方法に定率法を採用していましたが、第1四半期連結累計期間より定額法に変更いたしました。

当社グループでは、近年、美容事業の環境変化に伴い、店舗面積あたりの収益性を高めるために店舗のダウンサイジング化を図り、大型店舗の移転等のスクラップ&ビルドを実施して投資回収の早期化を図っております。

その結果、前連結会計年度末において大型店舗の移転はほぼ一巡し、長期的な店舗収益計画及び安定的な設備投資計画を策定をすることが出来る体制が整備されております。

こうした状況において当社グループにおける店舗設備投資効果及び店舗収益の発生状況を見直した結果、美容室店舗設備及び器具に対する投資効果や店舗収益は使用期間にわたり安定的に発現する見込みであることが判明しております。

当該変更は、これらの状況を踏まえ店舗設備等の有形固定資産の取得原価を耐用年数にわたって均等に配分する定額法がより合理的であると判断したためであります。

これにより、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が、それぞれ24,007千円増加しております。

(会計上の見積もりの変更)

当社グループは、賃貸借契約に基づき使用する美容室店舗等については、退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、定期賃貸借契約以外の賃貸借契約のうち、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現時点で移転等も予定されていないものについては、資産除去債務を合理的に見積ることが出来ず、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりませんでした。

第1四半期連結累計期間において、閉店実績等の新たな情報の入手に伴い、賃借資産の使用期間及び原状回復義務の履行時期を合理的に見積ることが可能となったため、見積りの変更による影響額459,140千円を資産除去債務に計上しております。

また、当該見積りの変更により、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ12,879千円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

従来、顧客への前払式支払手段(以下、チケットという)を販売後、使用期限を経過したチケットの未使用相当額を連結損益計算書の営業外収益「期限到来チケット精算収入」に計上しておりましたが、前連結会計年度より「売上高」に計上する方法へ変更しております。

この変更は、従来までの付随メニューで使用できるチケット販売から主要メニューで使用できるチケット販売へ変更したことから、チケット販売を主要事業の一部として捉え、営業活動として業績把握を行うためのものです。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、営業外収益「期限到来チケット精算収入」に表示しておりました8,435千円を「売上高」に組替えております。

また、前第2四半期連結累計期間において「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「貸倒引当金繰入」は金額的重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することといたしました。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた1,418千円は「貸倒引当金繰入」として組替えを行っており、「営業外費用」の「その他」は12,783千円から11,365千円となっております。